

令和2年度 組合資料収集加工事業

全国中小企業団体中央会では、中小企業・小規模事業者や組合等連携組織が、新たな事業活動への挑戦や組織体制の見直し等を行う際の参考になるよう、課題解決等に先進的に取り組む組合活動事例について調査・分析、収集・普及を行っています。

令和2年度は、「事業継続力」「IT、デジタル変革」「特徴ある活動」の3テーマを取り上げ、専門家の協力を得ながら、77組合の活動事例のエッセンスを「先進組合事例抄録」としてとりまとめました。

本稿では、全国の取り組み事例（一部）と群馬県より取り上げた組合（次頁）を紹介します。

全国の取り組み事例(一部)

〈テーマ1〉事業継続力(抄録では下記を含め36事例を紹介)

○横浜中華街発展会協同組合(神奈川県横浜市)

令和2年4月の緊急事態宣言下、外出が抑制され、飲食店の営業時間も短縮された。そうした中、当組合では、共同駐車場事業を実施し、観光バスの利用がなくなった横浜中華街パーキング協同組合と連携し、「ドライブスルーサービス」のアイデアが組合執行部の中で立ち上がった。

いかに「密」を避け、リスクを減らしつつ組合員の売上に寄与するか、と想っていたところに「大きな駐車場のスペース活用」「店での飲食を伴わない利用」ということが上手く噛み合った。

出来る限りコストをかけない仕掛けにするため、役員が自らスタッフとして動き、6月末までの期間限定で実施。当時、こうした組織一体となった活動は珍しかったこともあり、メディア各局に取り上げられ、利用者もかなりの数となった。

お客様から、「ドライブスルーで数店舗分購入することもできるので、お店の味比べができて良かった」という声も届くなど好評を博した。

近年、動画メディアの多様化もあり、報告書の配付による紙面だけの周知には限界があるとの声が多数あることから、上記の事例では、試験的に事例紹介の動画を制作しました(右記QRコード)。動画には、理事長他、事業の主要担当者等のインタビューなども盛り込まれています。是非ご覧ください。



〈テーマ2〉IT、デジタル変革(抄録では下記を含め12事例を紹介)

○安達収運業協同組合(福島県安達郡大玉村)

当組合では、人口や世帯数の増加に伴いゴミの量が増え、収集時間の遅延、収集漏れが大きな課題となっていた。これらの問題を解決するため業務車両管理システムを導入。約1,500か所のゴミ収集ステーションの位置、GPSを搭載した収集車両の現在位置と移動・収集履歴を可視化した。組合、組合員だけでなく、委託元の行政もパソコン上からリアルタイムに閲覧でき、行政からの信頼獲得にもつながっている。

〈テーマ3〉特徴ある活動(抄録では下記、次頁を含め29事例を紹介)

○福岡県菓子工業組合(福岡県福岡市)

「JA全農ふくれん」と連携し、県の支援も得ながら県産いちじく「とよみつひめ」を使用した商品開発と新しいブランドづくりに挑戦、5種類の新しい菓子が完成した。イメージキャラクター「とよみつ姫」も生まれるなど、現在、認知度を上げるためのPR活動を推進している。

企業組合群馬中高齢雇用福祉事業団

住 所	〒 370-1104 群馬県佐波郡玉村町大字上福島 525 番地		
設 立	平成元年 2 月	組合員数	54 人

■背景・目的

「社会的弱者に仕事を」の考えのもと、中高年齢者・障がい者を組合員として設立した当企業組合は、地元玉村町のクリーンセンターに関わる業務を受託して事業を開始し、現在までの35年間で自治体や地元民間事業者を対象に、事業の範囲を広げてきた。継続的な組織活動が認められて公園運営の指定管理者となり、現在は地元を応援する企業組合にまで成長した。

■取組みの手法と内容

平成18年より指定管理者として玉村町の公園等の維持管理事業を行っている。もともと当組合は町のクリーンセンターに関わる仕事や草刈りなどの緑化事業を受託していた。町が公園の管理運営を指定管理で行うとのことから当組合も応募したのが経緯である。事業実績や地元雇用の促進等で当組合への信頼度や認知度は高まってきたこともあり、指定管理者を任された。

「社会的弱者に仕事を」との考えのもとで設立した当組合の現在の組合員数は54名。年齢構成は60歳以上が5割であり、70歳代も11名と多い。障がい者は5名である。各人の生活スタイルは多様であるため、新たな事業を開始するにはメンバーの合意形成を図るまでに時間が掛かり、まとめるのに苦労するところである。体力的な面や障がいの悪化によりやむを得ず脱会される方もいるので、業務に携わるメンバー構成は柔軟に対応している。

組合員個人が中心となって活動し、ともに働くという企業組合の特色は当組合員のニーズに適合していることに加え、働き甲斐をもって仕事に臨んでいただけるよう現場責任者を7名配置するなど、きめ細やかなマネジメントを心掛けている。その結果、本年のコロナ禍においても生産性は維持できた。

組合員満足度向上および地元行政、地元住民等の顧客満足度向上の両輪を回しながら、責任ある組織としての運営が求められている。

■成果とその要因

企業組合として組合員個人を中心としながらも、組織的に取り組んできた日頃の活動が評価され、玉村町の公園維持管理等の指定管理事業を長年任されてきた。社会的弱者とされる中高年齢者・障がいの組合員が、それぞれの生活事情に応じて仕事に関われることで満足度が増し、町や住民などの顧客からの信頼度が高まる好循環となっている。



組合事務所棟(右)と併設されている廃棄物処理工場(左)



公園テニスコートを整備する組合員

POINT

社会的弱者として仕事の機会を得るのが比較的難しい中高年齢者・障がい者個人を企業組合として組織化し、地元自治体から指定管理の仕事に任される仕組みを構築した。